

直近(10年間)の耐性菌検定の結果

対象病害	成分名	薬剤名	実施年度	生育阻止濃度	判定濃度	供試菌株数	耐性菌株率	調査回数	耐性菌発生 率
					(ppm)		(%)		(%)
コムギ赤かび病	チオファネートメチル	トップジンM	2019	生育阻止濃度	100	8	0	4	0
	プロピコナゾール	チルト	2019	生育阻止濃度	100	8	0	4	0
ダイズ紫斑病	アゾキシストロピン	アミスター	2018	生育阻止濃度	100	87	32.2	20	65
カンキツ灰色かび病	クレソキシムメチル	ストロビー	2012	生育阻止濃度	100	57	1.8	10	0
	フルアジナム	フロンサイド	2012	生育阻止濃度	1	57	0	10	0
カンキツ緑かび病	チオファネートメチル	トップジンM	2017	生育阻止濃度	10	62	40.3	10	50.0
カンキツ青かび病	チオファネートメチル	トップジンM	2017	生育阻止濃度	10	3	100	3	100
ナシ黒星病	ベノミル	ベンレート	2015	生育阻止濃度	100	84	100	28	100
	フェナリモル	ルピゲン	2015 2020	50%生育阻止濃度 50%生育阻止濃度	1 1	103 36	17.5 22.2	28 7	39.3 42.9
ナシ黒斑病	クレソキシムメチル	ストロビー	2018	生育阻止濃度	100	50	26.0	4	75.0
	ジフェノコナゾール	スコア	2018	50%生育阻止濃度	1	50	0	4	0
イチゴ炭疽病	ジエトフェンカルブ	ゲッターの一成分	2011	生育阻止濃度	100	87	2.3	15	13.3
	ベノミル	ベンレート	2011	生育阻止濃度	100	87	97.7	15	100
イチゴ灰色かび病	ベンチオピラド	アフエット	2014	生育阻止濃度	1	31	3.2	6	16.7
			2020	生育阻止濃度	1	53	39.6	14	57.1
イチゴうどんこ病	トリフルミゾール	トリフミン	2022	生育阻止濃度	100	2	0	2	0
	シメコナゾール	サンリット	2022	生育阻止濃度	100	2	0	2	0
	アゾキシストロピン	アミスター	2022	生育阻止濃度	100	2	100	2	100
トマト灰色かび病	チオファネートメチル	トップジンM	2019	生育阻止濃度	100	42	100	6	100
	ジエトフェンカルブ	ゲッターの一成分	2020	生育阻止濃度	10	42	2.4	6	16.7
	ジエトフェンカルブ・チオ ファネートメチル	ゲッター	2022	生育阻止濃度	0.3※ 10※	98 98	96.9 0	4 4	100 0
	※ジエトフェンカルブの成分濃度								
	プロシミドン	スミレックス	2019	生育阻止濃度	5	42	76.2	6	100
	アゾキシストロピン	アミスター	2019	生育阻止濃度	100	42	97.6	6	100
			2022	生育阻止濃度	100	98	80.6	4	75.0
メバニピリム	フルピカ	2019	生育阻止濃度	3	42	2.4	6	16.7	
ベンチオピラド	アフエット	2019	生育阻止濃度	1	42	0	6	0	
		2022	生育阻止濃度	1	88	47.7	4	75.0	
ボスカリド	カンタス	2022	生育阻止濃度	1	88	95.5	4	75.0	
フルジオキシニル	セイビアー	2022	生育阻止濃度	0.2	98	0	4	0	
			生育阻止濃度	1	98	0	4	0	

判定濃度 (ppm) の有効成分を含む培地上で、生育したもの、または、50%以上の生育阻害が認められなかったものを耐性菌とした。